

12月議会では、市政の様々な問題点を取り上げて市当局の姿勢をただしました。

政令市

# 教員の正規率はワースト3

## 非正規教員の9割がクラス担任に

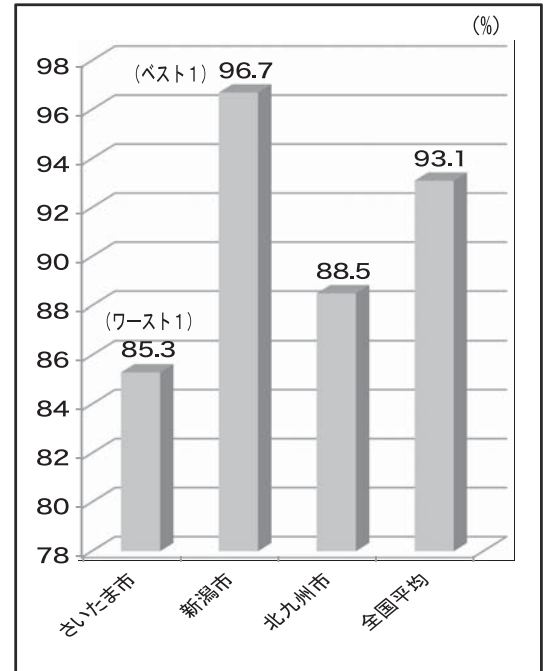
12月議会では、マスコミも含めて教員の正規比率の低さが問題になりました。

文部科学省の調査によれば、小学校、中学校、特別支援学校あわせた正規教員の割合を20ある政令市で比較すると、北九州市は下から3番目、ワースト3です(右のグラフ参照)。

市教育委員会は、「数年後には9割程度にしたい」と答弁しましたが、せめて全国平均の93.1%を目指すべきだ、と追及しました。

非正規教員の数は611人です。北九州市の教員採用試験で不合格になった人たちです。ところが市は、その9割にあたる非常勤講師に「クラス担任」をさせています。「保護者は非正規の担任を望んでいない」と正規にするよう強く要求。教育長は、「担任は正規の教員にするよう努力したい」と答えました。

## 小中学校等の教員定数の標準に占める正規教員の割合



文部科学省のまとめより(2017年5月1日現在)

	定数	現在の正規数・率		現在の非正規数・率		正規率93.1%では	
		人数	割合	人数	割合	人数	不足数
小学校	2,738	2,418	88.3%	306	11.2%	2,549	131
中学校	1,555	1,418	91.2%	137	8.8%	1,448	30
小・中学校計	4,293	3,836	89.4%	443	10.3%	3,997	161
特別支援学校	623	455	73.0%	168	27.0%	580	125
合計	4,916	4,291	87.3%	611	12.4%	4,577	286

## JR委託工事 当初協定額が大幅に増えた一例

	当初協定額	変更後	当初比
折尾駅付近高架化事業	124億円	156億円	126%
折尾駅連続立体交差事業	350億円	487億円	139%

## おかしいだろ! JR委託工事

12月議会では、JR九州への委託工事費が、異常に高騰している実態をとりあげました。上記の表は、最近、JRへの委託工事で当初協定額から値上げした一例です。折尾駅連続立体交差事業では、39%も高騰しています。

北九州市は、2012年度から2016年度の5年間で、この他JRにたいし、①橋梁維持補修等点検工事で21件・11億1097万円、②道路改築事業費等で11か所・106億7132万円などを委

託してきました。

列車の走行に配慮して夜間作業が中心になるとはいえ、他の事業に比べて契約金額は高く、工事開始後の金額変更も高くなることはあっても、下がることは皆無です。

しかもJRへの工事委託は競争もなく、協議のみで行われています。

金額、工事内容は本当に妥当なのか、と正しました。「JR九州とは毎月の定例会議でチェックしている」と弁明しましたが、現場に足を運んでのチェックはしていません。



## 2017年 12月議会 意見書・決議にたいする各会派の態度

件名	提出会派 (議員数)	日本共産党	自民党	公明党	ハートフル北九州	ふくおかネット	希望と未来	採決結果
		10	21	13	11	1	1	
1 北朝鮮による度重なる弾道ミサイル発射に強く抗議する決議	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	可決
2 森友・加計問題の徹底解明を求める意見書	日本共産党	○	×	×	○	○	○	否決
3 働き方改革を推進するための関連法律の整備に関する法律案における残業代ゼロ等の撤回を求める意見書	日本共産党	○	×	×	○	×	○	否決
4 辺野古の米軍基地建設で違法な護岸工事中止を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	○	○	否決
5 温室効果ガス削減のための実効ある対策を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	○	○	否決
6 アメリカ言いなりの兵器購入を改めるよう求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	○	否決
7 TPP11協定への参加断念を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	○	否決
8 石綿被害訴訟の早期全面解決を求める意見書	日本共産党	○	×	×	×	×	○	否決

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2017・12・28  
No.532

発行 日本共産党北九州市議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレスが変わりました⇒ 日本共産党北九州市議員団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



15年で  
2倍に

# 介護保険料

# また大幅値上げ？

来年4月から介護保険料を大幅に値上げする計画を北九州市が発表しました。制度発足以来の15年間で、約2倍になります。

介護保険の事業計画は3年に1度見直されます。今回は2018～2020年度までの3年間の計画。高齢者の増加などが値上げの理由ですが、年金から支払える限度を超えてきており、抜本的な制度見直しが必要です。

計画では値上げ幅は7%～14%。それで計算した値上げ後の金額が右の表です。第5段階の基準額では現在の5700円から最大6500円に。制度発足時は3150円でした。

「年金は減るのに社会保障費は増えるばかりだ」との悲鳴があがりそうです。実際昨年度は普通徴収の約3割の人が保険料を滞納しています。市は現在、市民からの意見を求める「パブリックコメント」を実施しています。メールやファクス等で大いに声をあげていきましょう。詳しくは市のホームページで。

## <公共施設の使用料値上げ計画>

### 市民の反対が多く、高齢者の負担を5割から3割に引き下げ

プールや体育館、生涯学習センターなど公共施設の使用料を最大1.5倍に値上げする計画を、市は7月に発表しました。その後、市はアンケートや市民意見公募（パブリックコメント）をしましたが、値上げに反対の意見が多かったために、65歳以上高齢者は無料から5割負担にする予定を3割負担に縮小しています。

2018～2020年度の介護保険料予想（月額）

収入等	介護段階	保険料（円）			
		現行	改定案		
生活保護受給者等（保険料免除）					
本人が市民税非課税 （年金収入等）	世帯全員 市民税非課税	80万円以下	第1段階	2,570	2,750～ 2,930
		80万円超、 120万円以下	第2段階	3,990	4,270～ 4,550
		120万円超	第3段階	4,280	4,580～ 4,880
	世帯に市民税 課税者あり （年金収入等）	80万円以下	第4段階	5,120	5,490～ 5,850
		80万円超 （基準額）	第5段階	5,700	6,100～ 6,500
		本人が市民税課税 （合計所得金額）	120万円未満	第6段階	6,560
120万円以上 160万円未満	第7段階		6,840	7,320～ 7,800	
160万円以上 200万円未満	第8段階		7,130	7,630～ 8,130	
200万円以上 300万円未満	第9段階		8,550	9,150～ 9,750	
300万円以上 400万円未満	第10段階		9,980	10,680～ 11,380	
400万円以上 600万円未満	第11段階		11,400	12,200～ 13,000	
600万円以上	第12段階		11,970	12,810～ 13,650	

## 給食調理の 民間委託

## 委託率は 95.5%に

北九州市は来年度、学校給食の調理業務を新たに小学校9校・中学校1校民間に委託する議案を12月議会に出しました。これで民間委託率は95.5%になり、直営を続ける特別支援学校を除くと直営校はわずか6校になります。

ほとんどが民間業者による給食調理となっていますが、この間、子どもたちが好きな「トンカツ」「魚フライ」などは冷凍食品になり、野菜も機械切りが増えて、これまでのように繊維を残すような切り方ができないため、ざらついたり味が落ちたりするなど、質が明らかに低下してきています。

さらに民間への委託校では、①大雪の日に調理員が登校せず給食が提供できなかった ②給食の調理室で調理員が「おうと」し、調べるとノロウイルスだった ③ある小学校ではパート職員が全員いっせいにやめたため給食が提供できない危機に陥った——など、大事件があちこちで発生しています。

学校の給食調理は、短時間で大量の食事を作るため、相当の熟練を要します。1人前になるには10年かかるといわれます。ところが民間では、最低賃金ギリギリで働くパート従業員が多く、離職率も高い状況が続いています。

まさにいま、直営の調理員が守ってきた学校給食文化が存亡の危機に陥っています。

## 北九州市立大学の 運営費交付金 独法化後、4,7億円も削減

12月議会で日本共産党は、北九州市立大学に対する市の運営費交付金が、独立行政法人化した後の12年間で4,7億円も削減されている問題を追及しました。

独法化後、市立大学では学長の権限が強化されたほか、外部研究資金の獲得目標が示されて外部企業の意向が強まるなど、大学の自治や研究の自由も脅かされつつあります。

## 日本共産党各議員の常任委員会配置

（◎は委員長、○は副委員長）

総務財政委員会	建設建築委員会	環境水道委員会	保健病院委員会	教育文化委員会	経済港湾委員会
○荒川 徹	石田 康高	○柳井 誠	●大石 正信	◎藤沢 加代	山内 涼成
出口しげのぶ	高橋 都		●田中 光明	藤元さとみ	

●印は議会運営委員